九州運輸局メールマガジン　平成 30 年 3 月 29 日　第 380 号
～運輸と観光で九州の元気を創ります～
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/
九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。
九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。
次回の定期発行日は平成 30 年 4 月 12 日（木）です。

■ 目 次

１　現場リポート
◆大分県立宇佐高校の生徒に対するインターンシップを実施しました
◆九州で初めてとなる「物流効率化シンポジウム in 九州」を開催しました～総合物流施策大綱を踏まえた九州の物流の課題や方向性を共有～
◆南阿蘇鉄道災害復旧工事安全祈願祭及び着工式に秋本政務官が出席しました～南阿蘇鉄道災害復旧に向けて～
◆医療機関向け「訪日外国人旅行者 受付・診療マニュアル」などを作成しました！

２　お知らせ
◆「国土交通フォーカス 2018」を公表！
◆地域のモビリティ確保の知恵袋 2017 が策定されました～訪日外国人旅行者の地方誘客を支える交通施策～
◆平成 29 年訪日外国人消費動向調査【トピックス分析】訪日外国人旅行者の訪日回数と消費動向の関係について
◆広報誌「国土交通」No.149（2018.4-5）

３　投稿の間
《お知らせ》
◆西日本鉄道株式会社：外国人専用 nimoca「Fukuoka Go Pass」を試行販売しました

４　九州運輸局ホームページアップ情報
◆報道発表
◆お知らせ
◆更新情報

１　現場リポート

◆大分県立宇佐高校の生徒に対するインターンシップを実施しました

◎九州運輸局観光部では、3 月 10 日（土）に、観光産業の基礎知識を習得させたいとの宇佐高校からの要望に応じ、同校生徒に対し九州の観光と我が国の観光施策について学びと体験のインターンシップを実施しました。

◇インターンシップの内容等詳細は、こちらからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_380_1.pdf

---

◆九州で初めてとなる「物流効率化シンポジウム in 九州」を開催しました
～総合物流施策大綱を踏まえた九州の物流の課題や方向性を共有～

◎九州運輸局は、九州運輸振興センター及び九州トラック協会との共催により、3月7日（水）にハイアットリージェンシー福岡（福岡市）において、「物流効率化シンポジウム in 九州」を開催しました。

◇概要
・物流事業を取り巻く環境が大きく変化しているこの機を捉え、官民が連携して行う物流の効率化・省力化の取組みを広く周知するため、九州で初めてとなるシンポジウムを開催。物流施策大綱を踏まえた九州の物流・経済をテーマとして、国土交通省物流政策課長による基調講演や物流事業者の立場からの物流効率化取組事例の紹介、そして九州の物流を支える荷主企業や物流事業者等によるパネルディスカッションを実施しました。

◇内容
・九州運輸局物流効率化政策推進本部からの報告
九州運輸局長（物流効率化政策推進本部長）　加賀 至
・基調講演「総合物流施策大綱（2017年度～2020年度）の実現に向けて」
国土交通省 総合政策局 物流政策課長　英 浩道
・物流事業者による効率化・省力化に関する取組事例の紹介等
阪九フェリー㈱ 貨物営業部長 河本 順司
・パネルディスカッション
コーディネーター 九州経済調査協会 調査研究部長 岡野 秀之
パネリスト 九州産交運輸㈱ 代表取締役社長 荒川 泰治
パネリスト 阪九フェリー㈱ 貨物営業部長 河本 順司
パネリスト 日本貨物鉄道㈱ 九州支社長 姫野　健士
パネリスト 日本通運㈱福岡支店 九州営業部長 幸田 明男
パネリスト 佐賀県農業協同組合 園芸部（部長職） 納富 敏明
パネリスト 日本酒類販売㈱ 執行役員本部長 佐藤 稔
アドバイザー 九州運輸局 交通政策部長 本田 和久

◇九州運輸局からのメッセージ
・シンポジウムは、募集定員（150人）を大きく上回る235人が参加するなど、物流関係者から消費者まで大きな関心・注目が集まるなか、荷主、物流業界それぞれの立場からの貴重な意見や課題の共有が図られ、総合物流施策大綱を踏まえた九州の物流の方向性が示されるなど大変有意義な内容となりました。
・物流は、我が国の産業競争力の強化、豊かな国民生活の実現や地方創生を支えるインフラとなっており、企業活動や国民生活において重要な役割を担っているものですが、一方で、労働力不足が顕在化しつつあり、少子高齢化に伴う労働力人口の減少によって、中長期的には人材の確保が困難になっていく可能性も指摘されています。
・九州運輸局では、「総合物流施策大綱(2017年度～2020年度)」及び「総合物流施策推進プログラム」に基づき、これからの物流に対する新たなニーズに応え、我が国の経済成長と国民生活を持続的に支える「強い物流」の実現に向けて、物流総合効率化法が目指す「部分最適から全体最適なサプライチェーン」の実施など物流全体の効率性・生産性の向上に向けた支援、取組みを実施していくこととしています。
（交通政策部 環境・物流課）

◇「物流効率化シンポジウム in 九州」の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_380_2.pdf

---

◆南阿蘇鉄道災害復旧工事安全祈願祭及び着工式に秋本政務官が出席しました
～南阿蘇鉄道災害復旧に向けて～

◎秋本政務官は、3 月 3 日に熊本県南阿蘇村で開催された南阿蘇鉄道災害復旧工事安全祈願祭及び着工式に出席しました。

◇起工式の様子等は、こちらからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_380_3-1.pdf

---

◆医療機関向け「訪日外国人旅行者　受付・診療マニュアル」などを作成しました！

◇内容
近年、九州を訪れる外国人旅行者は急激に増加しています。これに伴って、外国人旅行者の「ケガや病気による救急搬送件数」が増加する地域が見受けられるようになり、受け入れる医療機関は「外国語でのコミュニケーション」や「医療費の未払いリスク」に苦慮していることがわかりました。
そこで、九州運輸局はこのような状況を解決するために、多くのクルーズ客船が寄港する長崎市内の行政機関や医療機関の協力を得て実証事業を行い、この度、医療機関向け「訪日外国人旅行者　受付・診療マニュアル」などを作成し、外国人旅行者と医療機関の双方が安心して治療に専念できる環境を整備しました。

・受付・診療マニュアル
医療機関での「外国人旅行者を受け入れるための基礎知識」に始まり、「受付や診療をする際の基本的な対応」や「医療費未払いリスクへの対応」など、様々な場面に対応できるような内容を盛り込んだマニュアルです。

・多言語ツール
基本的な病状等の確認であれば、外国語に不慣れなスタッフでも意思疎通ができるよう、「英語」「中国語（繁体字、簡体字）」「韓国語」に対応した「指差し会話集」です。

◇九州運輸局からのメッセージ
・「受付・診療マニュアル」や「多言語ツール」のセールスポイントは次のとおりです。
わかりやすい：医療現場と言えば「忙しい！」ということを念頭に置いて、とにかく読みやすく、わかりやすいものになるよう心がけました。文字がぎっしり詰まったものではなく、「図」や「チェックリスト」を多く盛り込み、「読んでみようかな」と思ってもらえるように工夫しました。
実践的：試作版を基に医療機関で外国人モニター相手に実践形式で実証実験を行い改良を重ねました。完成版は、医療現場の声や外国人目線を反映した大変有意義な内容になっています。
・九州運輸局のホームページから無料でダウンロードできますので、是非ご活用していただき、お知り合いにも紹介していただければ幸いです。
（観光部　観光企画課）

◇「受付・診療マニュアル」等掲載ページは、こちらからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00057.html

――― 2　お知らせ ―――――――――――――――――――――――――――――――

◆「国土交通フォーカス 2018」を公表！

国土交通省では、国民生活の安全・安心の確保、我が国の持続的な経済成長に向けた施策や魅力ある地域づくりなど多様な政策フィールドのなかから、平成 30 年度の“注目施策”をとりまとめた施策集「国土交通フォーカス 2018」を作成し公表しています。

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo08_hh_000132.html

◆地域のモビリティ確保の知恵袋 2017 が策定されました
～訪日外国人旅行者の地方誘客を支える交通施策～

国土交通省では、市町村等の交通施策担当者が、訪日外国人旅行者の誘客を支える交通施策を計画するにあたって参考にしていただけるよう、訪日外国人旅行者の観光特性、交通特性等の分析手法、交通施策の検討方法等についてとりまとめた「地域のモビリティ確保の知恵袋 2017～訪日外国人旅行者の誘客を支える交通施策～」を策定し公表しています。

◇詳細は、こちらからご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23_hh_000088.html

◆平成 29 年訪日外国人消費動向調査【トピックス分析】
訪日外国人旅行者の訪日回数と消費動向の関係について
～韓・台・香・中の訪日回数の多いリピーターは 1 人当たり旅行支出が高い～

観光庁は、平成 29 年訪日外国人消費動向調査トピックス分析として、リピーターの消費動向についてとりまとめました。

◇詳細は、こちらからご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_000346.html

◆広報誌「国土交通」No.149（2018.4-5）
＜特集＞飛躍する空港

◇こちらの URL からご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/page/kouhoushi.html

――― 3　投稿の間 ―――――――――――――――――――――――――――――――

-------- 《お知らせ》 ----------

◆西日本鉄道株式会社：外国人専用 nimoca「Fukuoka Go Pass」を試行販売しました

◎平成 30 年 3 月 26 日から西日本鉄道では、訪日外国人の利便性向上を目的として交通系 IC カード「nimoca」をベースとした訪日外国人専用の「Fukuoka Go Pass」を試験的に発売します。
【概要】
・発売価格：3000 円（チャージ金額 2500 円、カード代金 500 円）
・発売枚数：限定 2000 枚

◇詳細について、以下の URL からご覧ください。
https://www.nimoca.jp/fukuokagopass/
日本語・英語・中国語（繁体字、簡体字）韓国語対応）

――― 4　九州運輸局ホームページアップ情報 ―――――――――――――

--- ◆報道発表 ----------

◇（H30.3.28）「宿泊施設バリアフリー化促進事業」の公募を開始〔平成 29 年度補正予算事業〕
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00062.html

--- ◆お知らせ ----------

◇（H30.3.29）「交通政策基本計画」に基づく九州運輸局の取組について
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00068.html

--- ◆更新情報 ----------

＜統計情報のみ掲載いたします。その他更新情報は下記 URL からご覧ください＞
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN

◇（H30.3.20）「九州のうんゆ」（平成 30 年 1 月実績）」
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/body.htm

◇（H30.3.20）自動車保有車両数（平成 30 年 2 月）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/syaryousuu.htm

◇（H30.3.20）新規自動車登録数（平成 30 年 2 月）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/shinkitouroku.htm

◇（H30.3.20）燃料別等自動車保有台数（平成 30 年 2 月）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/nenryoubetsu.htm

/////// 編集部だより //

平成 29 年度も残すところ 3 日、桜の花も見ごろを迎え春のうららかな陽気とはうらはらに別れの辛さと出会いの不安が交錯する時期でもあります。九州運輸局でも多くの職員が退職や転勤、採用などを迎えます。誰もが知る言葉に「一期一会」というのがありますが、その由来は、幕末、桜田門外で暗殺された茶人でもあった井伊直弼大老が「茶湯一会集」で残したと言われています。「一期」は一生涯、「一会」は一回限りという意味で、人と人が出会うのは一生に一度だけで「その時」は二度とめぐってこないと表しています。つまり、「その時」という「時」は永遠に止まることはないので、毎日何度も顔を合わせている家族や職場の上司や同僚なども一刻一刻違うものなのでいつでもそれが最初で最後ということになります。すべての一期一会でそつなく誠意を尽くすことは難しいと思いますが、コミュニケーションの

基本である「挨拶」をその日その時々に心がければ、相互に誠意を尽くすことにつながると思います。新年度を迎えるこの機会に改めて一期一会を大切にしたいと思います。
◎季節の写真
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_380_4.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。
//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm
■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html
■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
Mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp
Tel : 092-472-2312　Fax : 092-471-7192